

HOYA株式会社

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料
2022年10月27日

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

決算ハイライト

1. 世界的に厳しい外部環境のなか、過去最高の四半期売上・税前利益を更新
2. ライフケア事業は堅調に推移、全ての主要製品が増収を達成
3. 情報・通信事業は、HDD基板の縮小幅が増加、映像も減収に転じたものの、半導体ブランクスの好調や為替効果により増収を確保

業績概況

(億円)	Q2 FY21	Q1 FY22	Q2 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,626	1,802	1,841	+13%	+2%
税引前四半期利益	540	615	618	+15%	+0%
四半期利益	430	484	473	+10%	-2%
cf. 通常の営業活動 からの利益	492	542	539	+9%	-1%
cf. 通常の営業活動 からの利益率	30.3%	30.1%	29.2%	-1.1ppt	-0.9ppt

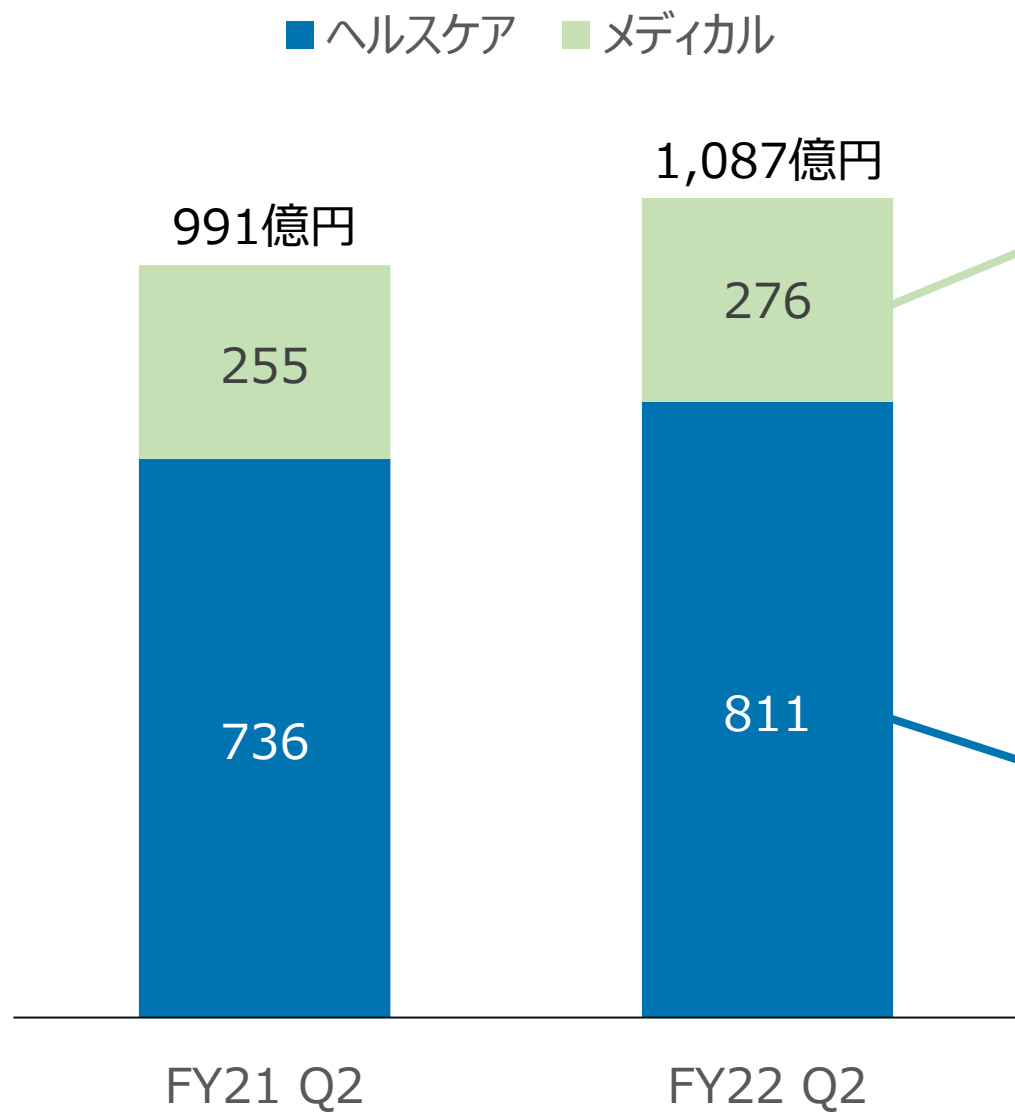
- 円安により売上収益は167億円、税前利益は54億円のプラス（当期レート USD@139.35円、EUR@139.53円）
- 為替換算影響を除いた実質成長率は売上収益+3% YoY、税前利益+5% YoY
- 税前利益と営業利益の差異は、主に為替益（63億円）と金融収益（受取利息+16億円）による

ライフケア事業

(億円)	Q2 FY21	Q1 FY22	Q2 FY22	YoY	QoQ
売上収益	991	1,108	1,188	+20%	+7%
税引前四半期利益	234	250	274	+17%	+10%
cf. 通常の営業活動からの利益	198	216	232	+17%	+7%
cf. 通常の営業活動からの利益率	19.9%	19.5%	19.5%	-0.4ppt	+0.0ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益+10%、税前利益+9%

ライフケア事業 各製品の概況 (為替ニュートラル)



内視鏡 [YoY +2%]

アジア・欧州の販売が堅調も、部材不足の影響が継続

眼内レンズ [YoY +15%]

日本がコロナ前の水準まで回復し増収

人工骨ほか [YoY +13%]

医薬品開発用バイオセラミックス、金属インプラントの好調継続

メガネレンズ [YoY +10%]

APACが好調。なかでも中国におけるコロナからの回復やMiYOSMARTの貢献により大幅な増収

コンタクトレンズ [YoY +11%]

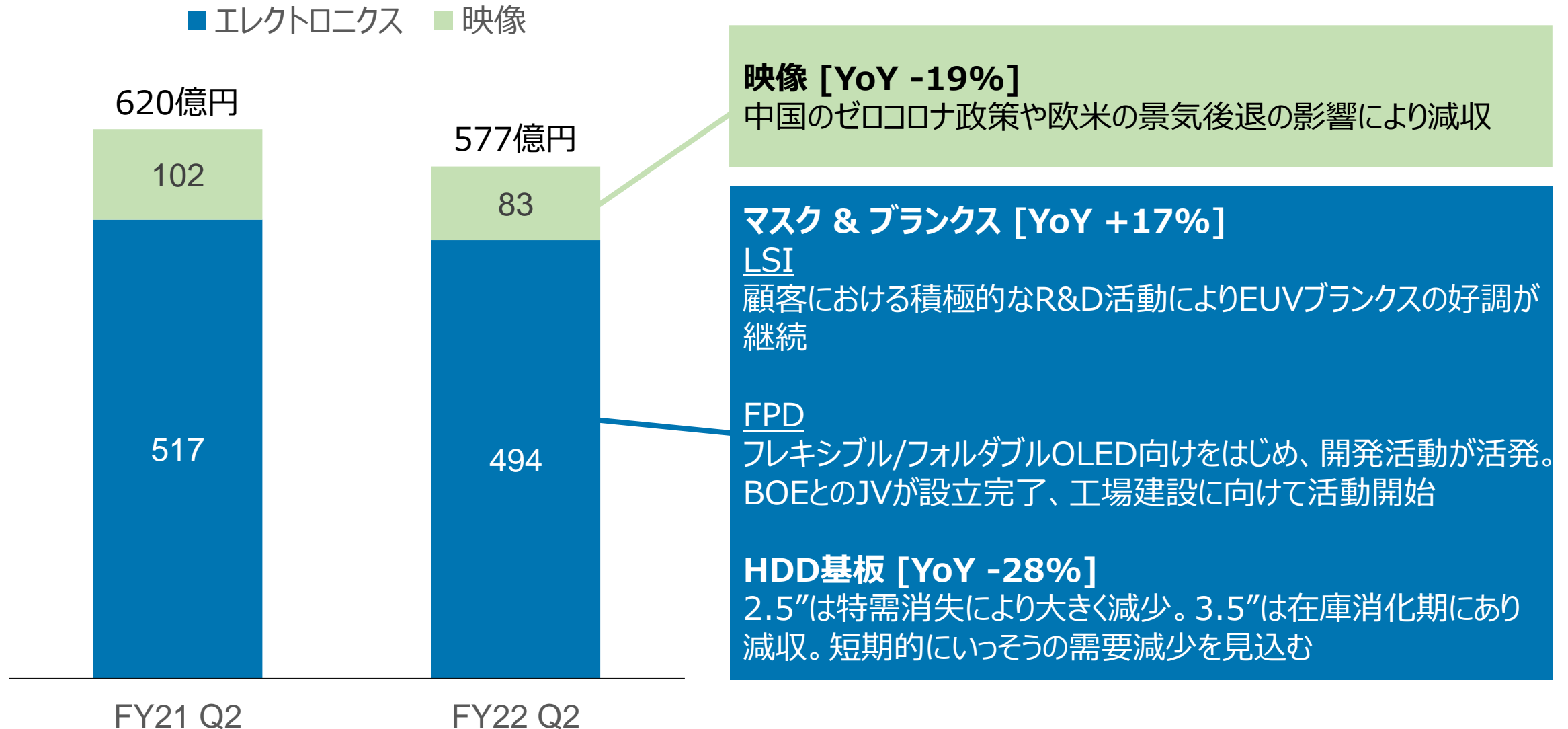
コロナ第7波が影響も9月以降回復が進み増収。
自社生産品を12月に販売開始予定 (詳細後述)

情報・通信事業

(億円)	Q2 FY21	Q1 FY22	Q2 FY22	YoY	QoQ
売上収益	620	683	642	+4%	-6%
税引前四半期利益	310	356	344	+11%	-3%
cf. 通常の営業活動 からの利益	301	335	317	+5%	-6%
cf. 通常の営業活動 からの利益率	48.6%	49.1%	49.3%	+0.7ppt	+0.2ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益-7%、税前利益+0%

情報・通信事業 各製品の概況 (為替ニュートラル)



貸借対照表/キャッシュフロー関連

株主還元

- 上限600億円の自社株買いを10/20に完了
- 本日の取締役会で取得した全株式を消却することを決議（発行済の1.15%）

設備投資*

- Q2実績は63億円（YoY -3億円）
- FY22は年間で400億円前後となる見込み**

減価償却費

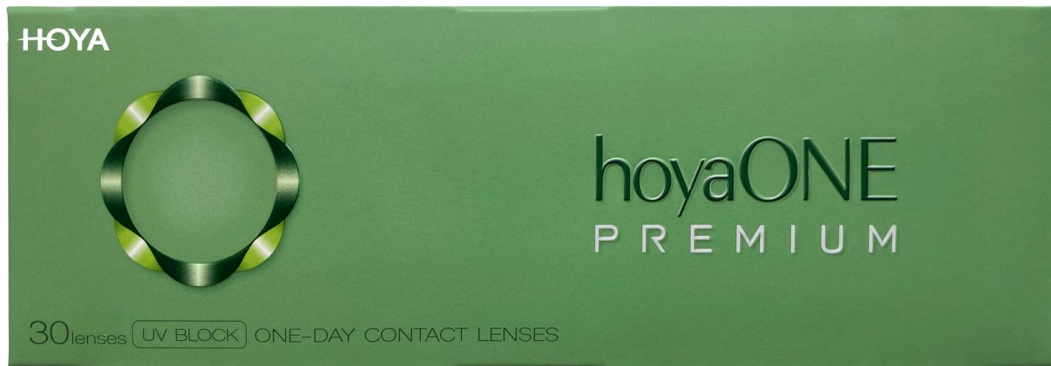
- Q2実績は123億円（YoY +17億円）

* CFベース。有形固定資産の取得

** キャッシュアウトベース。投資の前倒しや、為替の影響もあり期首想定より増加する見込み

コンタクトレンズ プライベートブランド（PB）について

- これまでの当社コンタクトレンズ事業は小売に焦点があり、自社製品売上は極めて小さかった
- 競合小売との差別化や顧客リテンションUPを図るべく、本年3月にPB品（OEM）を2製品投入
- 顧客からの評判は上々であり、再購入率が高い状況



hoyaONE PREMIUM

- シリコンハイドロゲル製
- 含水率54%の保水力
- UVカット機能付き



hoyaONE comfort

- 安心品質の国産ワンデー
- 天然うるおい成分「アルギン酸」を配合
- UVカット機能付き

hoyaONE treasuredを発売開始

- 本年12月には、自社工場生産のPB製品「hoyaONE treasured」を発売予定
- 酸素透過性が高く、レンズ表面に水分が集まる構造のため、柔らかで快適な装用感
- レンズの製造から小売りまで行う垂直統合モデルへ



hoyaONE treasured
(販売名:ホヤワン トレジャーD、承認番号 30400BZX00234A01)

本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2022年4月～2023年3月の会計期間を2023年3月期もしくはFY22と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 「通常の営業活動からの利益」は、税引前四半期利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。
<https://www.hoya.com/investor/kessan/>

Innovating For a Better Tomorrow

HOYA